

高砂市総合計画審議会（部会）
議事録【要旨】〔第1部会〕

開催日時	平成22年5月21日（金） 午後2時00分～午後4時00分
開催場所	南庁舎5階大会議室
部会長	前田委員
出席者	伊藤隆委員、稲田委員、作間委員、中野委員 前田委員、坂口委員、田端委員、宮野委員（代理 米澤）
欠席者	柿木委員、渡邊委員（2名）
議事	（1）第4次高砂市総合計画（素案）について
資料	<ul style="list-style-type: none"> ①第4次高砂市総合計画基本構想（素案）第3版 ②第4次高砂市総合計画基本計画（素案）第2版 ③第4次高砂市総合計画基本構想（素案）骨子・・・ ・・・資料3 ④第4次高砂市総合計画基本計画（素案）【概要版】＜第1部会＞ ⑤第4次高砂市総合計画基本計画（素案）内容修正による審議会資料 ⑥まちづくり提案募集結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料7 ⑦まちづくり指標一覧表 ⑧パブリックコメント意見の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料8 ⑨高砂市総合計画審議会の今後のスケジュール・・・・・・・・・・・・・資料9 ⑩ご意見書（様式2）

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
	開 会
事務局	ただいまから高砂市総合計画審議会第1部会総務部会を開催する。まず、部会長より、ひとことご挨拶をお願いします。
部会長	皆さん、こんにちは。青葉若葉の好季節、何かと皆さん方、ご多用のなか、総合計画第1部会にご出席いただき、大変ご苦労さまです。今日は、前回に引き続いて後半を協議していきます。最後まで皆さん方のご協力をよろしくお願い申し上げます。
事務局	本日の会議は、出席者8名、欠席者2名。審議会条例第5条第3項の規定により、過半数が出席されているため、会議が成立していることを報告する。当審議会の公開について、高砂市総合計画審議会の運営に関する規定に基づき、公開している。本日の傍聴希望者は2名。 ○資料確認。 今後の議事進行については、部会長をお願いします。
部会長	本日の議事を進める。第4次総合計画（素案）について、事務局より説明願う。
事務局	○資料説明 第4章 第1節 3 防災
部会長	ただいまの件について、ご質問、ご意見のある方は挙手をして発言願う。
委員	高砂市には、水防団はあるのか。
事務局	水防団としてではなく、消防団が兼ねて対応している。高砂市の水防計画に基づいて、水防本部を組織し、毎年計画のうえ活動している。年1回、水防訓練ということで、消防団、行政、消防と、自主防災組織もあわせた訓練をおこなっている。
委員	消防団が水防団の役割を含んでいるという判断でよいか。②の自主防災体制の推進には、組織の育成強化しか書かれていないが、水防団の訓練等はこ

事務局	<p>ここに含まれているのか。</p> <p>そうです。</p>
委員	<p>市民の防災力をどう高めるかというところは、これは消防だ、これは危機管理室だと分けているわけにはいかない。消防のところでは、消防団の記載があった。ここでは、水防団の記載がないので、少しどうかということ。</p> <p>総合的にどう地域の防災力を高めていくのかの視点が、少し足りないということが一点である。</p> <p>2点目は、災害復旧計画（Disaster Recovery Plan）についての記載がないが、これについてはどのように考えているのか。</p>
事務局	<p>計画③防災対応力の充実に挙げている地域防災計画のなかで、事業継続計画といったかたちで計画されていると思うが、具体的な方針、手法については今後検討していくこととなっている。</p>
事務局	<p>災害復旧計画については、地域防災計画のなかで謳われているが、高砂市の場合については、災害が起こった時でも、代替ができるようにという方向で全庁的に指示はしている。</p>
委員	<p>地域の防災力を高めるという観点から、例えば、地域の水防団などを総合化するような考えはないのか。本来はそういうもののうえに自主防災があるものである。耐震化の問題というのは個別の問題ではない、家が倒壊しないことによって避難路を確保するという役割があり、それは地域の防災力と密接にかかわる話である。そういったかたちでこれを位置付けた方が明確である。この書き方では考え方が明確ではない。地域の防災力を高めるその一貫として自主防災が、防災対応力が、あるいは建築物の耐震化だと関連づけると、将来にわたって、どのような方向で地域の防災力を高めていけばよいかかわかる。</p>
事務局	<p>毎年、消防その他が参加して自主防災組織の研修、講習を行っている。そこでいま指摘されたようなこと、例えば、耐震化等についての指導等、徹底しているが、具体的な内容ということか。</p>
委員	<p>施策の目標のところだが、「公共の福祉の確保を図ります」としか書かれていないので、例えば、「地域の防災力を高め」といった文言を入れることによって、もう少し位置付けがはっきりするのではと思う。</p>

事務局	文言については検討したい。
委員	この施策の目標は市役所視点で書かれており、地域の視点が少ないと思う。地域自ら、自らの地域を守るということが、これから必要になってくる。例えば、足の不自由な方の避難路の確保などは地域でしか対応できない。そういったことが地域計画のなかに含まれていくべきである。根本的な考え方というのは、地域の防災力という視点ではないかという意味である。
部会長	もう少し具体的に、どういう目標に向かって市民意識を高めていくのかを明確にしてほしいということである。よく検討していただきたい。それと同時に、地域にいま組織化されている自主防災組織を市全体で訓練、研修し、深めていく必要がある。自主防災組織は福祉関係にも影響してくる。その辺をよく考慮して、地域が、これだったらやりやすいという組織図を描かれるようにしていただきたい。市民の安全を守るのは、市民であり、また行政でもある。自助・共助・公助ということから考えて、災害に強いまちを目標にしてほしい。
委員	計画が<現況と課題>のオウム返しのようにになっている。計画のところにもう少し言葉を足した方が、市民にはわかりやすいのかなという気がする。
事務局	表現について工夫する。
部会長	意見がないようであれば、次に進む。
事務局	○資料説明 第4章 第1節 4 防犯
部会長	ただいまの説明についてご意見、ご質問はあるか。
委員	防犯に関する言葉をすべて網羅して並べてあるが、何か一つ重点的な対策を打ち出すべき。例えば、いま問題となっている振り込め詐欺を防止するよう啓発活動を進めるなど、市民の印象に残るような文章にして、市民が自ら気を付けるようにはたらきかけてほしい。
事務局	文章表現を検討する。
事務局	総合計画という性格上、どうしてもあれもこれもと網羅しがちになり、項目の羅列になっていると思う。アクセントを付けたり、重点項目を挙げる

	<p>など工夫したい。</p>
部会長	<p>先ほども〈現況と課題〉と〈計画〉がオウム返しになっていると指摘があった。実施計画では、より具体的な記述になるのか。</p>
事務局	<p>総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画という三層構造で考えている。構想は大きな方針、大綱であり、計画はそれを具体的にし、実施計画で、より具体的な内容を示していくという流れになっている。</p>
部会長	<p>5年、10年を見通した基本構想、そして、高砂市は今後こうあるべきだという基本計画。そして実施計画では、細部にわたる内容が示されると理解してよいのか。</p>
事務局	<p>基本計画は10年間の計画となり、全体を網羅した内容となっているが、いまのご指摘もふまえて、実施計画のなかでアクセントを付けるよう考えていきたい。</p>
委員	<p>総合計画が大まかになるのは、ある程度やむを得ないと思う。だから総合計画の方針に従って、関係する団体、部署が具体的な計画を立て、防犯活動をするのが大切だと考える。被害に遭ったときに相談できる窓口、ネットワークをつくる必要があると考える。現在、老人会ではそうした窓口をつくろうと運動をしている。こうした組織づくりが必要だと思う。</p>
部会長	<p>振り込め詐欺は、被害が多発しているが、基本計画、長期計画のなかで現在行っている取り組みを示し、それと併せて今後、5年、10年、長期にわたってもこんな取り組みをしますという新たなものがあれば書いていただければよいのではないか。</p>
事務局	<p>振り込め詐欺が発生した場合、特別に警察からの依頼があったときには防災行政無線を通じて注意喚起し、自治会等を通じて文書を回すといった対応をしている。現在行っている防災行政無線による注意喚起や、文書による啓発活動が、防犯意識の高揚につながるのではないかとはいえる。</p>
委員	<p>市民は、犯罪被害に遭ったとき、どこに相談すればいいかわからない。相談窓口が具体的に明らかになっていればかなり違うと思う。われわれ老人会は、相談、連絡し合えるような組織でありたいと思っている。例えば、老人会では何かあったときに相談するところが決まっており、また、失敗したことを恥に思わず、経験したことを犯罪防止に役立てるため、みんなに知らしめていこうと考えている。</p>

委員	情報の共有化、ネットワーク化がされていて、窓口から各部署につながるようになっていけば、かなり有効だと思う。市民の意識レベルを高めるということを文章にしてほしいと思うが、いかがか。
部会長	防犯研修会には、さまざまな組織が参加して、今後の防犯対策を話し合っているが、そこでの協議が実施計画を細かくつくっていく作業になろう。この審議会は、長期計画について審議する場であることをふまえて、協議願いたい。
事務局	基本計画に基づく実施計画、あるいは個別計画のなかで、市民に印象づけるような内容をふまえて計画づくりをしたいと考えている。
委員	<現況と課題>の黒丸一番下に「環境の浄化」という言葉が出てきている。また、計画の②防犯環境の整備にも「環境浄化活動の充実を図る」という言葉が出てきているが、意味がわかりづらい。別の言い方をするか、修飾語を加えてもっとわかりやすい表現にしてほしい。
事務局	表現は検討する。
部会長	ほかに意見がないようなら次に進む。
事務局	○資料説明 第4章 第2節 1 平和行政
部会長	ただいまの説明に対して、質問、意見のある方は挙手を願う。 意見がないようであれば、次に進む。
事務局	○資料説明 第7章「親しみある簡素で開かれた地域経営都市」 第1節 効率的な執行体制の整備 1 行財政運営
部会長	ただいまの説明に対して、質問、意見のある方は挙手を願う。
委員	103 ページ、<現況と課題>一番上の黒丸3行目、「構成比の高い人件費」という表現がわかりにくいので、予算構成比とする等、言葉を足していただきたい。黒丸3つ目、「縦割りを廃した」は、廃止の廃ではなくて、手偏の「排した」ではないか。確認いただきたい。最後の黒丸1行目で、「事業の

	<p>選択と集中により、改革再編すると共に」となっているが、「改革する、再編する」の目的語が書かれていないので、目的語を明確にしてほしい。</p> <p>104 ページの③の2つ目の白丸の1行目、「受益者負担の適正化」という言葉があるが、適正化というと、いまの受益者負担は不適正だということになる。だから、見直しといった表現でないとおかしい。</p> <p>その次に、「税料」という言葉が出てきているが、あまり一般的に使われない言葉なので、税や使用料、手数料といった言葉に直した方がよいと思う。</p>
事務局	<p>市民が読んで理解しやすいという観点から、表現を検討する。</p>
委員	<p>この計画自体が、どこに対して理解してもらおうとしているのかわからない。やはり市民に理解してもらうことが目的だと思うから、注釈の必要な言葉を使うことは避けるべきだと考える。横文字にしても日本語でわかりやすく説明できないのか。そういうところが気になる。どの層にわかってもらいたいのかということを見ると、少し疑問に思う。できるだけ多くの市民に理解してもらいたいということであれば、そういう目線に立った計画としてほしい。</p>
事務局	<p>市民に読んでいただくための総合計画ということで作成している。難解な表現の部分もあるので、市民に読んでいただく計画であることをふまえて、できるだけ読みやすい計画にしていきたいと考えている。</p>
部会長	<p>ほかに質問、意見はないか。</p>
委員	<p>104 ページ2番「市民に対する説明責任を果たしつつ、地域との協働を推進します」ということで、評価の話も入っているが、いま現時点での評価は内部評価である。市民に対する説明責任という意味では、本来であれば外部評価を入れて説明をすると、かなり説明責任という部分では上がると思うが、この第4次総合計画に関して、いままで内部評価だったものを外部評価に切り替えていくという考え方があるのかお聞きしたい。</p>
事務局	<p>あくまでも内部評価ということで進めている。ただ、行政改革に際しては、有識者の方々の講評、意見をいただきながら、現在、取組みのなかで進めていることをご理解いただきたい。4次総合計画のなかでは、できるだけ外部からの評価も進めていきたいとは思いますが、どこまで進められるかということも含めて検討していきたい。</p>
委員	<p>外部評価というと、膨大な資料が必要となり体制をつくるのも大変で、なかなか難しいだろう。内部評価の場合は、その点、実情をわかっている人が</p>

	<p>評価するため、手間がかからない。今後ひとつの案としては、例えば、加古川市が高砂市を評価するといった、まったく違った視点を取り入れた、内部評価でありながら外部評価に近いような厳しい評価をしていくことが必要である。またこれは、公開していくということが非常に大事で、やはり市民の視線が市の職員の引き締まる一つの要因になるだろう。</p>
部会長	<p>いまのご意見もふまえて、今後検討願う。</p>
委員	<p>104 ページ③の白丸の3つ目の1行目、「費用対効果のある成果重視のシステムを構築し」とあるが、費用対効果のある成果重視のシステムというのが、もう一つぴんとこない。費用対効果というのは、施策効率、事業効率の問題で、成果重視とはまた違うだろうと思う。</p>
部会長	<p>費用対効果、成果重視というのは相反する言葉である。</p>
委員	<p>費用対効果はアウトプット評価で、成果はアウトカム評価ということで、事業評価のなかにこういうアウトプットとアウトカムがあるということをつまえて書かれているのだろうとは思いますが。</p>
委員	<p>日本語として、費用対効果のある成果重視のシステムというのはどうか。</p>
委員	<p>確かに日本語としてどうか。</p>
委員	<p>あまり使わないという気がする。例えば、「費用対効果を意識した」とか、「費用対効果をふまえた成果重視のシステム」くらいの方がわかりやすいのではないか。</p>
部会長	<p>文章を読んでもいまひとつわからないのであれば、せつかくの長期構想が無駄になる。市民が読んでよくわかるような文言に変えるところは変えてほしい。ほかにご意見ご質問ないか。ないようなら次に移る。</p>
事務局	<p>○資料説明 第7章 第1節 2組織・人事管理</p>
部会長	<p>ただいまの説明にたいして意見、質問のある方は挙手して発言願う。</p>
委員	<p>NPM の説明があるが、民間手法を取り入れれば質の高い行政サービスができるという説明がいたるところに出てくる。例えば、指定管理者制度の条文のなかでも、いわゆる民間手法を入れると、より質の高いサービスができ</p>

事務局	<p>るというような文言が必ず入ってくる。しかし、そこまで行政がへりくだる必要はない。当然、いいことは取り入れたらいいが、民間手法を入れると、すべてよりよい行政サービスに結びつきますよというのは、簡単なすり替えのように聞こえて仕方がない。</p> <p>また、いちいち文言を説明しなければならないことが非常に引かかる。市民目線でやるのであれば、もう少し端的でわかりやすい文言がないのか。</p> <p>ご指摘、ごもっともである。使う言葉や内容の具体性には注意を払っている。横文字についても、ほかに置き換える言葉があれば置き換えてはいる。ただ、NPMのように、ほかには置き換えられない、これそのものを使わなければならない場合は、解説を付けて使っているということでご理解いただきたい。</p> <p>もう一点、効率的で質の高い民間手法を入れることについては、これまで行政が行っていた業務を民間もしてもらえるようになったという意味で、そうした表現を使っているということでご理解いただきたい。</p>
委員	<p>NPM（ニューパブリックマネジメント）は、90年代に特にオーストラリア、アメリカ、イギリスなどで取りあげられた考え方で、注釈にあるように「経営理念、手法、成功事例などを公共部門に適応し」といった手法である。これまで、公共と民間は別々のものであるというものから、80年代以降、公共の部分が民間の方に移管されてくる部分が多くなってきた。いわば垣根がなくなってきた。そして、行政を管理するという立場ではなくて、経営していくという立場に考え方を変えていくべきだろうと。こういうふうな発想から出ているものである。だから民間にすればすべてよくなると、そういう単純なものではなく、垣根がなくなってくるなかで、いいところを取り入れていきましょうということである。</p> <p>行政と民間というのは、いままでは行政が、民間の組織に対して影響を及ぼしたところが多かったが、必ずしもいまはそうではなく、民間の方の優れた手法を取り入れていこうという発想であるので、全部民間の方法ですればすべてよくなるという考え方でやっているわけではないと。</p> <p>あえて、ニューパブリックマネジメントという言葉が使われているのは、そういった意味を込めているというふうに私は理解している。</p>
部会長	<p>市民の目線で理解できる、あるいは理解度が深まる、そういう文言に訂正できるものであれば努力してほしい。</p>
委員	<p>民間手法を入れると、とにかくよくなりますよという言い方が目に付く。それであれば、なぜいままでやらなかったのかということになるので、あえて言わなくてもいいのではないかと。指定管理者制度に移行しなくても、いま</p>

<p>部会長</p>	<p>のままで改革すれば経費節減もできるのではないかと思う。</p> <p>市民が見た目で、理解度が深まるような文言に置き換えることができるならば、努力してほしい。</p> <p>再度、お願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>「適正」という言葉が使われ過ぎている。105 ページ、〈現況と課題〉の上から2行目に「市民ニーズへの適正で効率的な対応」とあるが、これは適正ではなく、適切ではないか。黒丸4つ目1行目「適正な定員管理」とあるが、ここで適正というと、現状が適正ではないといっていることになる。少なくとも審議会の議決ももらって運営されているわけであるから、ここは「より厳格な定員管理が求められてくる」といった書き方であるべきだろう。</p> <p>そのほかにも、人事管理の適正化等、適正という言葉が多用されているが、やはり適正という言葉は慎重に使った方がよいと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>ここでの「適正」は、恐らく何かに対応したようなという意味で使っているのだろう。事務局と委員との言葉のとらえ方が違うのかもしれないが、こうした議論があるのであれば、慎重に使うべきだろう。</p>
<p>部会長</p>	<p>意見、質問はないか。ないようであれば、次に進む。事務局より、説明願う。</p>
<p>事務局</p>	<p>○資料説明</p> <p>第7章 第1節 3 事務管理</p>
<p>部会長</p>	<p>ただいまの説明について質問、意見があれば挙手をして発言願う。</p>
<p>委員</p>	<p>107 ページ、〈現況と課題〉②で、「市政の透明性を高め、信頼される行政を実現するため」とあるが、この文だと、市が市民参画と協働について、市はこうしていますからどうぞ参画してくださいというイメージを持っているよう感じられる。そうではなく、市民には参画と協働に関しても選択の自由があるわけである。情報公開というのは、市民の選択、つまり自主的な判断のいわば基盤となるものであって、単に信頼される行政というものとはニュアンスが変わってくる。例えば、「市民の参画と協働のために市民が選択をし得るような」とか、「選択の基盤となるような」とか、あるいは「合理的な判断をするためのもの」とか、市民目線というのはここにあるべきだろうと。情報公開は、市民が参画をするための基盤なんだというところが見えなければならぬ。〈現況と課題〉と、ここが少しちぐはぐだなという印象を受けた。「市民の選択に資するような」とか、「そうした情報の基盤となるよう</p>

	<p>な」とか、そうした表現がいるのではないかと思う。</p>
事務局	<p>市民目線という観点で表現を検討する。</p>
部会長	<p>ほかに質問、意見がなければ、次に進む。事務局、説明願う。</p>
事務局	<p>○資料説明 第7章 第2節 1 広域行政</p>
部会長	<p>これについて質問、意見があれば挙手を願う。なければ次に進む。事務局、説明願う。</p>
事務局	<p>○資料説明 第7章 第2節 2 情報施策</p>
部会長	<p>ただいまの説明について意見、質問があれば挙手を願う。</p>
委員	<p>110 ページ、施策の方向②住基ネットは盛り込まなくていいのか。例えば、計画の②情報施策による市民サービスの向上について、住基ネットはまだまだこれからやるべきことはある。普及率が低いのは問題だが、一方で、これを普及させることによって、効率化とか利便性を図るという考え方も当然ある。反発が大きいことも十分承知しているが、このあたり具体的なプランニングはあるのか。</p>
部会長	<p>これについて事務局、答弁願う。</p>
事務局	<p>住基ネットについては、まだ検討項目として加えていなかったため、いまの意見を踏まえて一度検討したい。</p>
部会長	<p>ほかに意見、質問はないか。なければ今日の議題についてはすべて終了した。事務局、その他あればどうぞ。</p>
事務局	<p>○その他 ・まちづくり指標（案）一覧表について説明 指標や目標を掲げ、市民にとってわかりやすい計画にしたいということから、基本計画の施策の分野ごとに、できるだけ指標や目標を設定していきたいと考えている。（施策の分野ごとに、指標、現況、H27年度の目標値、H32年度の目標値、計画内容、理由を示しています。） 現在、総合計画への掲載を検討している。</p>

	<p>今後、意見をいただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメント意見の概要について（資料8）説明 H22. 3月25日～H22. 4月30日の間、「第4次高砂市総合計画（素案）について」意見募集しましたが、提出された意見の概要でまとめたもの。2名の方から21件の意見の提出があった。 現在、回答案を作成中である。今後、審議会に示し、審議会としての考え方を整理し、公表していきたい。 ・今後のスケジュールについて（資料9）説明 <p>委員長には、その都度、案内、通知文が出されるのか。</p> <p>事務局 次回の審議会の開催直前には、案内通知をお送りする。</p> <p>部会長 これで今日、予定していたすべての議題が終了した。皆さん方から、これだけは言っておきたいということがあれば、発言願う。</p> <p>委員 素案 110 ページ、「行政サービスを提供できるように市民サービスの電子化を推進します」とあり、「行政サービス」という言葉と「市民サービス」という言葉と2つ使われている。どちらかに統一した方がわかりやすい。検討願う。</p> <p>部会長 いまの件について検討願う。多くの市民が、この基本構想を素晴らしいものだと感じられるようにと思いつつ審議会で審議してきた。 今日が最終の部会となる。次回、6月11日は正副部会長、それから正副会長。委員の皆さま方は7月2日ということになる。お忙しいなか申しわけないが、出席願いたい。 どうもご苦労さまでした。</p> <p style="text-align: center;">閉 会</p>
--	---